

2022年9月15日

東京電力ホールディングス株式会社
取締役会

原子力安全改革に関する監視結果について

当委員会は、3月9日に開催された第19回原子力改革監視委員会にて指摘した以下の重点課題について監視・監督を行ってきた。

- ✓ 継続的な安全性向上への取り組み
- ✓ 統括的視点によるマネジメント
- ✓ 組織内部、社会とのコミュニケーション

その間、当委員会は、東京電力 HD からの中間報告（7月15日、20日、9月8日にオンライン、及び9月14日に対面にて実施）、経営層との意見交換（対面、オンラインにて21回実施）、柏崎刈羽原子力発電所の視察（9月12日に実施）などを実施した。また、本日開催した第20回原子力改革監視委員会において、東京電力 HD から、重点課題に関する改善状況について、報告を受けた。

委員会は、重点課題に関する改善状況について、以下の所見を示す。

- ✓ 継続的な安全性向上への取り組み

リスクマネジメントについて、本社、福島第一原子力発電所、柏崎刈羽原子力発電所にて、リスクを日常的に議論し、各種のリスクマップを用いた包括的なリスクの抽出・評価・対策を実施し、必要に応じ上位の階層（組織・会議体）に速やかに情報が上がる仕組みを構築するなどのリスク管理活動を行っていることを確認した。

一方、継続的な安全性向上に資する各種訓練の状況、及び安全性の向上に寄与しない業務のなくす・減らす・変える取り組みの進捗については、今後の取り組みを期待する。

✓ 統括的視点によるマネジメント

マネジメントについては、現場重視の事業運営、地域の皆さまの声を発電所運営に活かすことを目指した本社・原子力部門の機能移転や、豊富な経験を有する外部人財の採用などの取り組みを行っていることを確認した。組織の改編を含め、組織全体でマネジメントモデルの体制・制度の整備に力を注いできており、進捗しているように思われる。今後、強固なガバナンスと監視、及び全所員の組織化を含むマネジメントモデルを成熟させる必要がある。また、本取り組みについては、整備された組織における PDCA を持続させ、自ら定めた目的を果たすことが期待される。

マネジメントモデルにおいては、多くの改善と重点的な取り組みが行われてきた分野がある一方、今後、継続的な取組を期待する分野もある。委員会はマネジメントモデルの有効性について、継続的な報告を求める。

✓ 組織内部、社会とのコミュニケーション

東京電力 HD の組織内、協力会社などとの円滑なコミュニケーションは、発電所の安全性を担保するために極めて重要な役割を持つ。また、不具合の兆候や故障、潜在的な脅威や不適合事象を早期に発見し是正するために、懸念を自由に提起できる環境の向上が必須である。組織内部のコミュニケーション向上の取り組みについて、例えば、柏崎刈羽原子力発電所においては、経営層と所員や協力会社との対話活動、若手所員を中心に所員自らが「いい発電所」にするための活動、及び本活動における所員からの意見を発電所幹部が受け止め、経営層が率先し、所員が参加し職場の雰囲気づくりを行うことを目的にした「発電所の志」を作成するなど、職場環境の改善に努めていることを確認した。これらの取り組みが継続されることが望まれる。

社会とのコミュニケーションについては、原子力発電所における安全への取り組みについて地域住民を含むステークホルダーの目線で、正確かつ、分かりやすい言葉、タイムリーな発信をしていくことを期待する。また、国内外で幅広い社会の層と率直で誠実な対話（双方向のコミュニケーション、ダイアログ）を行い、信頼回復に繋がることを期待する。そのためには社内で国内外における幅広い視点を理解できる、多様性に富んだ人材の育成と確保が急務である。

福島第一原子力発電所において重要なことは、安全に廃炉作業を続けることである。

柏崎刈羽原子力発電所における焦点は、工事から安全な運転へのモード移行である。

東京電力 HD の改革の成果を確実なものとするため、福島第一原子力発電所事故により多くの人々の生活に多大な影響を与えた反省に基づき、原子力事故は取り返しのつかない甚大なリスクを生むことを自覚した上で、各人が緊張感をもって改革の取り組みを行うとともに、それらの活動と成果を持続させ、もって原子力事業者としての社会的な責任を果たすため、マネジメントは、随時、自らの活動を客観的な視点で検証することが期待される。

東京電力 HD が取り組む改革の進捗とともに、重点課題に対する改善状況について、2023 年度上期までに、報告することを求めたい。

原子力改革監視委員会

委員長	デール・クライン
委員	櫻井 正史
委員	アミール・シャカラミ
委員	西澤 真理子
委員	小林 喜光
委員	大西 正一郎

以 上